



みなみっ子

35号

学校教育目標

〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

令和7年12月11日(木)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

沖縄の面白い不思議なこと

沖縄独特のことば

「しまくとぅば」「ウチナーグチ」は他県との違いがあり独特な言葉と理解されています。そんな沖縄のことばですが、昔の日本語との共通点もいくつかあります。例えば、お隣の町の名前「東風平」の「東風」や「南風原」の「南風」は日本語の古語にあることばです。また、沖縄で「かなさん」と使われていることばが「愛おしい」という意味で日本語の古語と同じ表現です。

このように共通点もありますが、日本語の母音(あいうえお)が沖縄では「あ(a)、い(i)、う(u)」の三つに簡略化される違いがあります。特に「え(e)」は「い(i)」、「お(o)」は「う(u)」に吸収されることの特徴があります。

ちなみに「しまくとぅば」には「ん」から始まることば「んむ」(いも)などもあることも特徴のひとつです。しりとりが成立しないことばですね。

琉球音階って何？

「レ」「ラ」を除いた「ド・ミ・ファ・ソ・シ・ド」の5音で構成される音階が一般的に沖縄の音階です。リコーダーや鍵盤で「ド・ミ・ファ・ソ・シ・ド」を奏でてみるだけで不思議、沖縄・琉球って雰囲気になります。

沖縄は楽器も特徴があります。15世紀ごろ中国から伝わったとされる三線(さんしん)があります。それ以外にも箏(くとう)や胡弓(くーちょう)、笛(ふあんそう)、太鼓(てーく)などがあります。また、三線は爪型の撥(ばち)を使うのも特徴です。

18世紀半ばごろにはエエ四(くんくんしー)と呼ばれる楽譜も考案されています。

4年生が「尚巴志」の紙芝居で三線などの楽器の音色を聞いています。沖縄の音楽の魅力を改めて感じたと思います。

不思議な呼び方

チョンダラーと聞くとどの様な姿を思い浮かべますか？おそらく多くの方は右のような顔を白塗りしたエイサーの道化をイメージするでしょう。



ところでチョンダラーに漢字があるのを知っていますか？京太郎と書くそうです。国指定文化財等データベースにある沖縄市泡瀬の京太郎(チョンダラー)は下の写真です。同じチョンダラーと言っていて、全く違う格好をしています。なぜこのようなことが起きているのでしょうか？上のイラストは以前「ナカワチ」「アカサナジャー」「ダイサナジャー」などと言っていたと記憶していますが、最近はどこでもチョンダラーと言っています。不思議ですね言葉って。同じ呼び方で違う姿をしています。



国指定文化財等データベースより

首里城の不思議

首里城の復元が着々と進んでいます。正殿の外観もみることができます。この首里城には、たくさんの興味が湧くものがあります。正面の中央部分のことを唐破豊(からはふう)(※本来の建築用語では唐破風という)といい中国風に見えますが、日本各地にある神社やお寺など見られる和風の建築様式です。

その他にも、龍と火の玉のような火焰宝珠(かえんほうじゅ)や、玉座にあるブドウやリスの彫刻があることなど不思議なものがたくさんあります。

正殿が公開されたら見学をして不思議なものを見つけて、その由来を調べてみると首里城の見え方が変わってきます。



水道などの給水管の出口に取り付けられた器具のことを何といいますか？

沖縄独特な表現でしょうか？右のイラストを何と言いますか？「ガラン」でしょうか？それとも「カラン」でしょうか？正式には濁音のない「カラン」です。沖縄で一般点に濁音のある「ガラン」といっていませんか？それ以外にも、沖縄独特の表現は沢山あるように思えます。例えば「ちり箱」です。「ゴミ箱」はあるが一般的に「ちり箱」とは言わないことがあります。これが一概に悪いということではないと思います。他県でもその地域独特の言い回しはあるようです。ちなみに「ちり」と「ごみ」はその大きさで区別することが多いです。

